

desknet's NEOって、本当に使いやすいの？

他の会社はどんな活用してるの？

お客様の声、 集めました。

ヴァイオリニスト松尾依里佳が

ユーザーを訪問！

デスクネッツネオ
ユーザー事例集

vol.3

desknet's NEO

グループウェア デスクネッツネオ



「使われないシステムをなくしたい。」

そう考え、みんながもっと“使いたくなる”

グループウェアを目指したデスクネッツ ネオ。

たくさんのお客様のお悩みを解決しています。

desknet's NEO イメージキャラクター
ヴァイオリニスト 松尾 依里佳



01

株式会社東京ダイヤモンド工具製作所

P.03

業務フローの可視化から迅速なお客様対応



製造

223ユーザー



パッケージ版

02

社会福祉法人みなと寮 大阪市立弘済院第1特別養護老人ホーム — P.05

職員のモチベーションアップから離職防止



福祉・医療

150ユーザー



パッケージ版

03

社会福祉法人 聖隷福祉事業団

P.07

大規模な複数施設の連携強化



福祉・医療

7000ユーザー



パッケージ版

04

社会福祉法人 札幌市社会福祉協議会

P.09

組織再編統合後の情報共有



福祉・医療

770ユーザー



パッケージ版





05

株式会社九州フィナンシャルグループ ————— P.11
経営統合の協働環境を一ヶ月で整備

 金融・商社

130ユーザー

 パッケージ版

06

フォルテック一級建築士事務所 ————— P.13
年間約300棟の案件進捗管理

 建築・不動産

20ユーザー

 クラウド版

07

生活協同組合コープえひめ ————— P.15
組合員の声から期待に応える商品企画

 組合・団体

700ユーザー

 クラウド版

08

ちばぎんコンピューターサービス株式会社 ————— P.17
会議資料ゼロを実現

 情報・通信

320ユーザー

 パッケージ版

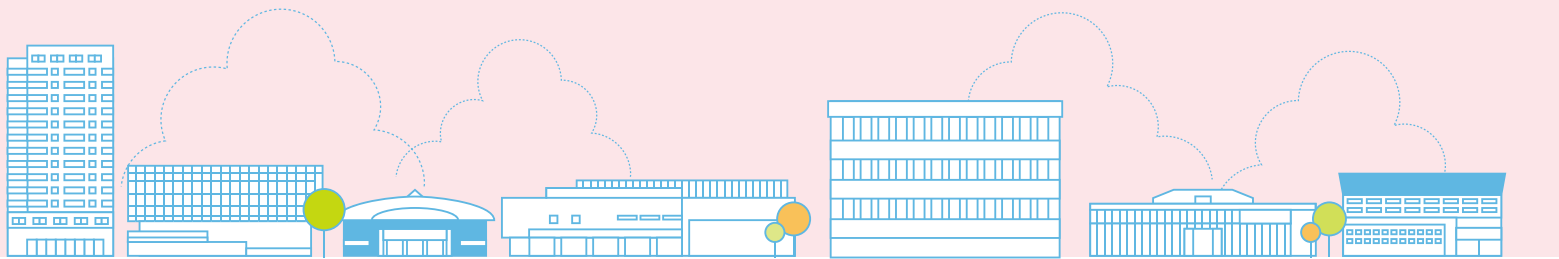
09

株式会社 アイネット ————— P.19
職場環境の改善

 情報・通信

1700ユーザー

 パッケージ版





株式会社 東京ダイヤモンド 工具製作所



ダイヤモンド工具の
製造・販売

223

ユーザー



製造



パッケージ版

導入時期	2008年	従業員数	297名	設立	1940年11月(創業1932年7月)	所在地	東京都目黒区
事業内容	オーダーメイドによるダイヤモンド/CBN工具の研究開発・設計・製造。電気・電子、精密機器、輸送機器、建材などの国内外メーカー各社の製造現場で活用され、高度な技術要求に応える独自のソリューションで高精度のダイヤモンド/CBN工具						
URL	http://www.tokyodiamond.com						

「販売促進、技術営業の現場でワークフローを活用。 高度な技術要求への迅速な対応が可能となりました。」

東京ダイヤモンド工具製作所様は、地球上で最も硬い鉱物を活用したダイヤモンド工具の設計・製作における先駆的存在です。同社の製品は、フラットパネルディスプレイや半導体、ハードディスク、光学機器など精密さを要求される製造現場には不可欠な工具として、日本のものづくりを象徴するような著名なメーカーや海外の製造現場などでも活躍しています。それまで全社共通の情報共有基盤を持たなかった同社では、はじめてのグループウェアにdesknet's NEOを導入。本社と国内各所の営業所・工場を結びと同時に、取引先の注文や要請を製造部に発注するための申請書類を[ワークフロー]で管理。精緻かつ高度な製品への要求に応える独自のソリューションに役立て、顧客満足を追求しています。



この事例の
ポイント

- 1 全社共有の情報基盤として、グループウェアの導入を検討
- 2 親しみやすい機能、コスト、運用効率を評価。desknet's NEOを採用
- 3 ユーザーの工夫で[ワークフロー]の活用が発展。実務に変革をもたらす

全社共有の情報基盤として、
グループウェアの導入を検討。

— グループウェアを導入した背景には
何があったのですか？

以前はメールと電話による情報交換が中心で、社内の情報共有基盤がありませんでした。そのため、全社的な情報共有に時間がかかるなど非効率な面がありました。

— 当時改善したかった課題は
どのようなものでしたか？

互いのスケジュールは直接確認しあわないと分からない。全社一斉告知も紙の掲示板やレジュメの回覧では、全員に情報が行きわたるまでに時間がかかりタイムラグもある。設備予約も紙で管理していましたから、急な変更による調整の混乱やバッティングなども起こっていました。情報の多くがメールに偏ってしまうといった課題も抱えていました。

親しみやすい機能、コスト、運用効率を
評価。desknet's NEOを採用。

— desknet's NEO採用の決め手と
なったのはどのような点ですか？

採用の決め手はイニシャル&ランニングコストの優位性、わかりやすいユーザーインターフェースです。年齢の高い社員も多く、直感的に使える親しみやすさは重要でした。さらに、Slrに頼らずすべて自社で運用管理していますから、導入のしやすさ、管理しやすく運用に負荷がかからないことにも着目しました。そういう意味でwebベースであ



管理・財務部門
主担当取締役付
兼 管理部部長代理
兼 管理部管理
第1グループマネージャー
小野寺真樹 様



システム担当
マネージャー
小久保拓志 様

る事も必須でした。離れた営業所・工場のクライアント管理やサポートまでは難しく、基幹システムもwebベースで運用していましたが、導入準備やユーザー教育に費やす負担も最少に抑えられと評価・選択しました。

ユーザーの工夫で[ワークフロー]の
活用が進展。実務に変革をもたらす。

— 特に利用度が高く実務面で成果を
挙げた機能などはありますか？

業務に直結する機能としては[ワークフロー]があげられます。経路や分岐条件、紐付けなどの機能がバージョンアップごとに着実に進化を遂げていて、各種申請への活用が次第に増えていきました。当初は財務部の取引先登録票や管理部の研修受講申請書などをシステム部が設定・提供して利用を開始したのですが、利用領域は着実に拡がり、現在では「生産管理」「品質保障」「技術営業」「財務」「設計」関連の13種の書式が活用され、1日平均20案件ほど申請されています。

— [ワークフロー]の実務上の効果について、
ぜひお聞かせください。

ダイヤモンド工具はお取引先の製造品目ごとに仕様異なる完全なオーダーメイド製品です。製品依頼から社内発注、試作品の評価や改良、製品化まで、お客様の意向や要望の詳細をうかがっ

た技術営業と製造現場のやりとりが頻繁に繰り返されます。その間ステップごとに発生する特急品の依頼やクレーム対応、調査依頼、製品化検討などの申請を[ワークフロー]化することが、製造から納品までの迅速な対応につながりました。業務の中でも工数・コストに最も影響を及ぼす領域でもあり、多品種小ロットの受注体制でお客様からの高度な要求に応える当社のソリューションの正確さ、迅速対応に[ワークフロー]が役立っているといえますね。

— desknet's NEO導入後の手応えや
社内全体の効果についてお聞かせください。

まず、共有したい重要な情報はdesknet's NEOに「載せておけばよい」「見ておけばよい」という共通認識が生まれ、行動・意識として定着したことです。desknet's NEOの活用で、今まで煩雑になっていた情報が一元管理されると同時に、情報の目的ごとに、どの機能をどのように活用したらいいかをユーザー自身が判断し、業務で実現したいことを最適な機能を使って実用化しています。誰もが使ってみたいと思えば、社内教育などを実施するよりはるかに速く機能を習得して使いこなしてもらえる。そんなうれしい手応えを感じているところです。

ご利用中の機能と使い方

インフォメーション

人事発令通知、お悔やみ、クールビズやウォームビズの開始など、全社一斉通知・告知などに活用。発信部署ごとのカテゴリー分けで情報を整理している。誰もが必ず知りたい情報が載るので、導入直後の社内利用浸透に貢献した機能。

設備予約

会議室、社用車、各種備品類を管理。設備の見直しで車輛を削減したが運用効率を上げることで全車を有効活用。車輛削減後も営業効果を維持している。

ワークフロー

技術営業～製造間の各種申請に活用され、1日平均20件の申請書類が扱われる。多品種小ロット生産、個々の製品要求に着実に応え迅速な製造対応を実現する、業務に欠かせない活用度の高い機能として進化・定着。

文書管理

業務規程、稟議書、各種申請書類の最新版ひな形、就業規則、営業日報、BCPマニュアルなど、各種文書、申請書類などを管轄部門ごとに管理。

15 スケジュール

経営陣、外出の多い営業担当などのスケジュールがすぐに分かるようになり、所在が居ながらして確認できるようになった。こまめな顧客対応が多い部署だけに移動・出張が多く業務的にも不可欠の機能。



▲ 東京ダイヤモンド工具製作所様ご利用中の「ワークフロー」画面





社会福祉法人みなと寮
大阪市立弘済院
第1特別養護老人ホーム

介護老人福祉施設

150
ユーザー



福祉・医療



パッケージ版

導入時期	2011年	職員数	150名	設立	1966年11月	所在地	大阪府吹田市
事業内容	定員270人を超える日本最大級の特別養護老人ホーム。閉鎖的な傾向を持つ介護福祉業界で、「情報公開」に先駆的に取り組んでいる。						
URL	http://www.kosaiin1toku.jp/						

「やりがいを感じる情報共有が離職防止につながっています。」

弘済院第1特別養護老人ホームは、社会福祉法人みなと寮が大阪市から指定管理の指定を受け運営している、定員270人を超える日本最大級の介護老人福祉施設です。いまだ閉鎖的な傾向の強い福祉施設の中で「情報公開」と「人権擁護」の2つを基本理念に掲げ、Webサイトやブログ、SNSを利用した積極的な情報発信を行っています。情報を公開することで事業運営の透明性を高め、これから入所を考えている方や利用者様のご家族が安心できるよう、日々サービスの向上に努めています。そんな先駆的な情報公開への取り組みとサービスの維持・向上を支えているのが、desknet's NEOによる施設内の情報共有です。150人の職員が働く大規模施設で、全員が施設全体の状況を把握できる横断的な情報共有を実現。職員一人ひとりが利用者様本位のサービスを目指し、やりがいを持ちながら主体的に仕事に取り組める職場風土を築いています。

この事例の
ポイント

- 1 情報に対する意識を醸成し、風通しの良い職場を目指した
- 2 機能の充実とコストパフォーマンスを評価しdesknet's NEOを採用
- 3 わかりやすく伝え活かす、理想的な情報の循環が生まれた
- 4 やりがいを持って働ける職場風土の実現で、離職防止にも効果を発揮

情報に対する意識を醸成し、 風通しの良い職場を目指した。

— 施設の運営開始と同時に desknet's NEO をご採用いただきました。24時間体制で交代勤務にあたる介護福祉施設では、全職員が顔を合わせる機会がほとんどありません。特に私たちの施設は、150人を超える職員が4フロア12ユニットに分かれて働いている大所帯です。チームプレーが欠かせない介護サービスで、「施設内の情報共有をどのように行うか」というもっとも大きな問題解決のため、グループウェアの導入を進めました。

— 施設内の情報共有の他に期待した 利用効果はありますか？

「介護はつらい」「暗い」というネガティブなイメージばかりが定着しています。そんなイメージを打破するためにも、積極的に情報を公開し風通しの良い施設をつくりたいと考え、「情報公開」を基本理念とした施設運営を目指しました。そのことから、グループウェアを使った日々の業務の中で情報を共有することの意味や重要性を学んでもらい、職員一人ひとりの情報に対する意識を醸成していきたいと考えていました。

機能の充実とコストパフォーマンスを 評価し desknet's NEO を採用。

— desknet's NEO ご採用の決め手について教えてください。

desknet's NEOを知ったとき、まず初めに感じたのがコストパフォーマンスの高さでした。価格自体もそうですが、購入できるユーザー単位が細かいので

ムダな出費を抑えられるところにもメリットを感じました。他のグループウェアに比べて機能がとても充実しているので、想定している活用の幅がさらに広がる可能性を感じたことが採用の決め手になりました。

情報をわかりやすく伝え活かし、 理想的な循環が生まれた。

— 情報への意識教育はスムーズに
行えましたか？

導入当初はなかなか情報共有の仕組みを理解してもらうことができず苦労しました。情報を共有すると利用者サービスを良くすることができるというメリットを何度も繰り返し話していくことで、徐々に理解してもらえるようになりました。情報共有の便利さや利点を日々の業務の中で職員自身が実感すると、登録される情報の量も質もどんどん進化していきました。他の職員がどういう情報を求めているか、どう伝えれば良いか、ということ職員一人ひとりが考え工夫するようになったからです。報告書ひとつにしても自分が取り組んでいることをわかりやすく伝え、それを見た他の職員が良いところを取り入れ次に活かす。そんな有用な情報の循環が生まれました。

やりがいを持って働ける職場風土の 実現で、離職防止にも効果を発揮。

— 職員のみなさんが主体性を持って
仕事に取り組み、楽しそうに働いている姿が
印象的ですが、そのような職場づくりに
desknet's NEO は役立っていますか？

「介護の仕事は大変そう」「つらそう」というイメージが世間では先行していま



介護支援専門員
川見亮 様

すが、私たちの施設でそういったネガティブな意識で仕事をしている職員は、もしかしたら1人や2人いるかもしれませんが(笑)、ほとんどいないと思います。職員一人ひとりが「利用者さんが安心・快適に生活してもらうためにはどうしたらいいか」ということを考えながら、前向きな気持ちで仕事に取り組んでいます。そのためには、やはり情報共有が欠かせないと思います。私たちの施設で一番利用頻度の高い機能が[回覧・レポート]ですが、コメントのやりとりが活発に行われています。会議録などの報告書を回覧しても「すごく良い取り組みだと思います」といった評価や意見などたくさんコメントを貰えるので、また頑張ろうという気持ちに自然と向かいます。また、職員の誕生日には施設長が必ずダイレクトメッセージでお祝いのメッセージを送ってくれます。定型文ではなく一人ひとりに向けたメッセージを頂けるので、自分の仕事の取り組みを見てもらっていることを実感しますし、やる気にも繋がりますね。そういった情報共有やコミュニケーションを通じて職員がお互いを刺激し合い、やりがいを持って楽しく働けることが、離職防止にも繋がっていると感じます。これからも「働いていきたい」「働いてみたい」と思ってもらえる職場風土を desknet's NEO で築き、介護の仕事の魅力を広く発信していきたいと思っています。

ご利用中の機能と使い方

伝言・所在

日常的なちょっとしたお願いや簡単な引き継ぎに使用。変則的な交代勤務の中で、ミスなく手軽・確実に行える連絡手段として活用されている。

ダイレクトメッセージ

職員一人ひとりの誕生日を祝うメッセージを送るなど、コミュニケーション作りに役立っている。

キャビネット

時間がない時は情報にざっと目を通し、重要なものや読み返しが必要な情報をキャビネットへ保存。時間ができた時にゆっくり確認するために活用している。

インフォメーション

健康診断などの福利厚生情報などを掲載。

アンケート

研修会や行事・イベントの評価と感想を集計。結果はExcelにエクスポートして管理し、次回に生かしている。栄養管理士が献立を決める際にも、職員から意見を収集し参考している。

文書管理

事業計画書・経営戦略会議録などを保存。





社会福祉法人 聖隷福祉事業団



保健・医療・福祉・
介護サービス事業

7000

ユーザー



福祉・医療



パッケージ版

導入時期 2008年 職員数 13,474名 設立 1930年5月 所在地 静岡県浜松市

事業内容 1.医療事業(病院・診療所・ホスピスなど)、2.保健事業(健康増進・健康診断・人間ドック・疾病予防・労働環境測定など)、3.福祉事業(特別養護老人ホーム・身体障害者支援施設・救護施設・無料または低額診療・保育事業・有料老人ホーム事業など)、4.介護サービス事業(介護老人保健施設・通所事業・訪問看護事業・その他在宅サービス事業など)の計4事業、全国142施設の運営。

URL <https://www.seirei.or.jp>

「全国142施設のグループウェアを統合。 知識と情報の共有基盤として多忙な職員を支えています。」

社会福祉法人 聖隷福祉事業団様は、保健・医療・福祉・介護サービス事業に取り組む非営利組織の社会福祉法人です。昭和初期、当時治療法もなく感染への恐れから行き場のない結核の患者さんを多数受け入れた療養所が病院へと発展。現在では静岡県最大規模の病院として最先端医療をになう「聖隷三方原病院」「聖隷浜松病院」をはじめ、健診センター、特別養護老人ホーム、障害者施設、在宅サービス、有料老人ホームなど医療・福祉関連の142施設289事業を運営。職員数1万3,500名を超える大組織です。それまでは各施設ごとに個別に運用していたグループウェアですが、保健・医療・福祉・介護サービス事業の事業間連携強化を目的に、グループウェアをdesknet's NEOにリプレース。全組織・施設の情報共有環境を整備し、今まで以上に質の高い医療・福祉サービスの提供を目指しています。



この事例の ポイント

- 1 グループウェアの統合で142施設の情報共有・連携強化をすすめたかった
- 2 2万人の活用を想定。使いやすさとコストパフォーマンスでdesknet's NEOを採用
- 3 なくてはならないツールとして、医療・福祉サービスの質の向上に貢献

ご利用中のお客様の声

グループウェアの統合で142施設の 情報共有・連携強化をすすめたかった。

—— 以前の情報共有の状況について
教えてください。

以前は職員数100人を超える中規模以上の施設を中心に、個別にグループウェアを導入していました。当時採用していたのはdesknet's NEOの競合製品でしたが、運用は施設ごとと独自にサーバーを保有・管理し、活用手法もバラバラで、施設間の情報共有や連携が難しい状態でした。

—— そこでグループウェアを統合しよう
という気運が高まったのですね。

グループウェアを組織全体で統合して欲しいという熱心な要望は、多くのユーザーから上がっていました。聖隷福祉事業団では、施設ごとの優れた取り組みを全組織に活かすという目的もあって、幹部職員や役職者の施設間異動が積極的に行われます。より多くの現場を体験することで地域ごとの医療・福祉の課題も肌で感じられますし、その地道な積み重ねがケアやサービスの質的向上につながっているからです。異動先の環境が変わり、それまでの情報がまったく使えなくなってしまうのは業務面でも非効率ですし、積み重ねてきた貴重なナレッジやノウハウも途絶してしまいます。しかも1万3,000人規模の大組織になると、職員が連絡を取り



法人本部
総合情報システム部
係長
森理 様



法人本部
総合情報システム部
次長
北一樹 様



法人本部
総合企画室長兼
秘書・広報課長
臼井健太 様

あうにも「現在の施設に勤務しているか」瞬時に分からない事も実際にありますから。そのような中「グループウェアをもっと活用したい」「全組織横断的な活用を可能に」という潜在的なニーズが見えてきて、製品そのものを見直すことになったのです。

2万人の活用を想定。 使いやすさとコストパフォーマンスで desknet's NEOを採用。

—— リプレースにむけて、製品検討は
どのように行われましたか？

それまで使っていた製品と、さらに別のパッケージ製品、desknet's NEOの3製品を検討しました。実際に複数の施設のスタッフにモニターとして各製品を使用していただき、最も使いやすい製品としてdesknet's NEOが選ばれました。以前の製品に慣れていて職員たちも「違和感なく移行できる」とのことで、採用を決定しました。

—— その他、desknet's NEO採用の決
め手となったのは何ですか？

やはりコストですね。将来的には全組織2万人規模までの職員数の増加を想定していましたから。試算の結果いちばん

優位なのがdesknet's NEOでした。あとはユーザーが実際に試用して評価した使いやすさでしょうか。現在、全事業所をWANで結んでいますが、desknet's NEOならシームレスかつ安全に接続環境が整備できます。中には遠隔地の医療・福祉施設もありますが、ネットワーク環境さえ整えればすぐに情報共有でき、将来の事業拡大や施設の新社にも迅速に対応できるメリットは大きいと感じました。

なくてはならないツールとして、 医療・福祉サービスの質の向上に貢献。

—— 特に手応えを感じられた点や
desknet's NEO 導入後の効果はいかが
でしょうか？

日々忙しい医療・介護の現場における利用率が圧倒的に高いのはうれしい使われ方です。システム障害などでサービスが停止すると短時間で問い合わせが来るほどなんです。多忙な交替勤務でも着実に連絡事項を伝達でき、講習会や勉強会、学会報告や各種資料の閲覧共有など、医療・福祉サービスの向上につながる生きた情報がスタッフ間で共有できています。今後利用ユーザー数もさらに増やしていくつもりです。

ご利用中の機能と使い方

15 スケジュール

個人・グループの行動予定を管理。全職員の日程調整が効率化できた。来訪者が多い秘書・広報課では日々の来客数を表計算で分析し、統計をもとに接遇の体制を整えている。

設備予約

会議室、社用車、事前予約が必要な共有備品などを管理。不要な予約やダブルブッキングがなくなり稼働率が向上した。心肺蘇生訓練用の人形5体の運用など医療機関ならではの備品も管理されている。

電子会議室

各施設がスレッドでテーマごとに活用。2011年3月の東日本大震災の際には液化化で被災した千葉県浦安市の施設から被害状況の報告が時系列で上がり、支援物資の要望や支援供給の手配に役立てられた。

回覧・レポート

議事録や報告書、お知らせなど組織内向けの業務回覧に活用。[ウェブメール]との使い分けでメールの濫用を抑制し利用本数を減らせた。従来の紙文書も可能な限りdesknet's NEOに移行・共有し、ペーパーレス化を推進している。

文書管理

全組織の社内規程、各種報告書類などのひな形、申請書類の最新書式を保存。規定類だけでも50～60種類は共有。最新版の一元管理によって、規程に則った申請書類が正確に作成できるようになった。施設ごとに業務文書の共有にも活用されている。

インフォメーション

ニュース、通達事項、各施設のマスコミ取材・放映のお知らせなど法人全体の情報を配信。施設単位の緊急告知にも活用されている。

アンケート

社内報の企画内容の反響調査に総合企画室で活用。福利厚生アンケート特集に絡めて職員の満足度調査などにも活用。毎年[インフォメーション]で発表される理事長の「年頭所感」に対する職員の感想を集めるのにも活用されている。

ポータル活用

施設ごとに活用手法が異なるが、Web系システムや人事システムなどとdesknet's NEOを連携させ、活用している。



社会福祉法人 札幌市社会福祉協議会



地域福祉活動、在宅介護支援、
介護老人福祉施設の運営

770

ユーザー



福祉・医療



パッケージ版

導入時期	2014年	職員数	1,502名	設立	1952年2月	所在地	札幌市中央区
事業内容	福祉活動および福祉サービス利用支援を行う非営利民間組織。札幌市の福祉向上のため、地域福祉活動の推進、福祉サービス利用支援、在宅福祉サービス、老人福祉施設サービスを総合的に行っている。17施設44事業所を運営。						
URL	http://www.sapporo-shakyo.or.jp						

「情報連携の基盤として、札幌市の福祉の向上に役立っています。」

社会福祉法人 札幌市社会福祉協議会様は、『誰もが孤立せず 互いに支え合う やさしい街づくり』を基本理念に、地域で様々な困難に直面する人と向きあいながら福祉支援事業を行ってきました。2013～14年には札幌市の福祉3団体の再編統合が行われ、職員1,500人の大組織となり、それまでの地域福祉推進事業に加えて在宅福祉サービスや施設を拠点とした高齢者福祉事業など、展開する福祉事業の幅も大きく拡大しました。desknet's NEOは再編統合後の組織・職員間の情報共有のために導入され、各事業部間が密接な連携をとりながら、従来の社会福祉協議会の範疇にとどまらない幅広い福祉ニーズに応える事業を展開。札幌市の総合的な福祉の向上に取り組んでいます。



この事例の ポイント

- 1 福祉3団体の再編統合で事業力を強化。新組織を支える情報共有・連携が必要だった
- 2 入札・選考会で製品を精査。コスト・使用感などの総合評価でdesknet's NEOに決定
- 3 情報漏洩の不安なく活用できる共有環境を整備。社協全組織の情報連携の基盤となる

福祉3団体の再編統合で事業力を強化。新組織を支える情報共有・連携が必要だった。

—— グループウェア導入の背景についてお聞かせください。

札幌市社会福祉協議会は「福祉のまち推進事業」「ふれあい・いきいきサロン事業」「福祉除雪事業」「ボランティア活動センターや高齢者・障がい者生活あんしん支援センターの運営」などの地域福祉活動を通して地域が抱える福祉の課題に向きあってきました。2013～14年にかけては、札幌市内の福祉関係3団体の再編統合が実施され、『札幌市社会福祉協議会』、『札幌市在宅福祉サービス協会(介護保険サービス事業ほか)』、『札幌市福祉事業団(老人福祉施設の管理・運営)』の3組織が1つとなりました。

—— 組織の変化によって、事業にも大きな変化が訪れたのですか。

職員数も約1,500名、17施設44事業所を運営する大きな組織となり、各組織の専門事業を継続・充実させながら、福祉サービスの向上に取り組んでいくために、組織間の相互理解や情報共有、密接な事業連携が必要となりました。そこでグループウェアの導入を検討することになったのです。



常務理事
宮川学 様



地域福祉本部
総務部
総務課
総務企画係長
樋口弘 様



地域包括ケア本部
施設福祉部
施設福祉係長
杉村正人 様



介護事業本部
介護事業部
管理課
管理係長
高階和行 様

—— 評価基準で重要視されたのはどのような項目ですか？

コストと使いやすさです。利用継続の過程でユーザー数が増大しても大丈夫かどうか、専任のシステム部門がないので、運用管理の負荷がかからないようにトータルサポートが行き届いているかどうかにも留意しました。

入札・選考会で製品を精査。コスト・使用感などの総合評価で desknet's NEOを採用。

—— 利用経験のない desknet's NEOを導入することに不安はありませんでしたか？

はじめてグループウェアにふれる人も戸惑うことなく利用でき、福祉現場を最優先したいと願う職員たちに、ストレスを感じさせることなく使いこなしてもらうという点で、インターフェースの親しみやすさを高く評価しました。さらに、最新情報が常に提供されていることも、運用を継続していく上で高く評価できました。

情報漏洩の不安なく活用できる共有環境を整備。

社協全組織の情報連携の基盤となる。

—— 組織ごとに利用度の差があることで、導入浸透にもご苦労なされたのでは？

ユーザーの約半数がグループウェアがはじめてのうえに、年齢層の高い職員も多く、当初は業務でパソコンを利用する事に懐疑的な職員も少なからずいました。しかし、実際に利用し始めるとそれほどわずらわしい操作もなく、お互いの所在確認のしやすさや、迅速な連絡など、業務上のメリットがすぐに実証されました。

—— 導入から2年。組織の再編統合に役立てていただくことはできましたか？

同じ福祉の仕事とはいえ、それまでまったく別々に事業を行っていた3つの組織が desknet's NEO を介して情報共有や業務連携を実現できたことは、合併後の組織の統合にもプラスの変化を与えてくれました。福祉の仕事は個人情報や秘匿情報などを扱っているため、セキュリティの観点から外部とは遮断し、組織内の横断的な情報共有の手段を desknet's NEO に絞り込みました。日常の業務調整から部門を超えたプロジェクトの運営まで、多忙な職員がいつでも安心して活用できる共通の情報基盤として活用を展開しています。

ご利用中の機能と使い方

1 回覧・レポート

組織内メールとして活用。部署・名前前で該当職員が特定でき迅速に連絡が取れるようになった。以前は事業所間の連絡にeメールを使っていたが desknet's NEO 上で連絡・資料共有が行え、セキュリティ面でも安心して利用できるようになった。

2 インフォメーション

警察署の交通安全情報・社協代表に届くメールニュース、関係諸機関からの情報、セミナー案内や施設事情情報、優待チケット情報などの福利厚生や慶弔情報などが1日2～3件アップされる。公開範囲設定で特定部署への情報発信にも活用。

3 設備予約

会議室・打ち合わせスペース・社用車・プロジェクトなど、事業所・部署ごとの設備・備品管理に活用。自由な予約以外に、特定の管轄部署が登録管理を担当している物品もあり、多様な権限設定を使い分け効果的に活用している。

15 スケジュール

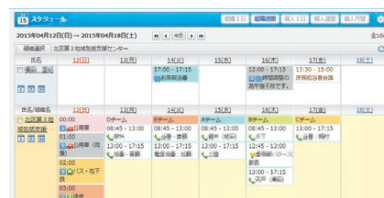
全職員の予定を公開(一部シークレットを利用)。予定がひと目で分かり、別部署の職員とのスケジュール調整もすぐできるので部署・事業所間の予定調整が迅速化。組織・グループごとの予定を分け運用を効率化している部署もある。

4 伝言・所在

スケジュールを登録した際に、伝言で通知。返信不要の軽いメッセージなどを送るのに重宝されている。

5 その他

TODO、メモパッドなどを活用。



▲ 札幌市社会福祉協議会様ご利用中「スケジュール」画面



株式会社 九州フィナンシャルグループ



銀行業
(総合金融グループ)

130

ユーザー



金融・商社



パッケージ版

導入時期	2015年	設立	2015年10月1日	所在地	本店/鹿児島県鹿児島市 本社/熊本県熊本市
事業内容	株式会社肥後銀行と株式会社鹿児島銀行との共同株式移転により設立。地域密着型ビジネスモデルによる地方創生を掲げ、九州全域で金融サービスを展開。地域産業の振興や中小企業支援には特に力を入れ、九州・東アジア全域を視野に入れた経営サポート、事業支援に積極的に取り組んでいる。				
URL	https:// www.kyushu-fg.co.jp				

「経営統合後の協働環境を1ヶ月で整備。 業務を支える規程管理もすぐに実現できました。」

株式会社九州フィナンシャルグループ様は、肥後銀行と鹿児島銀行の経営統合によって平成27年10月1日に誕生した新しい総合金融グループです。地域でトップシェアの地方銀行同士による新会社は、全国地銀グループで8位となりました。優れた産業や技術を持つ九州の企業に金融サービスを提供し、東アジアをはじめとする海外マーケットへの進出を支援するグローバルサポートなどを通じて「九州の未来を創る」さまざまな施策を展開中です。経営統合に挑んだ肥後銀行と鹿児島銀行が、それぞれに培ったノウハウと企業文化を融合させるため新会社に導入したのがdesknet's NEOです。設立までのわずかな期間でITを活用した情報共有環境を整備しました。



この事例の ポイント

- 1 経営統合による新たな金融グループの誕生。情報共有と業務の融合が急務となった
- 2 わずか1ヶ月で、職員が安心してdesknet's NEOを活用できる環境を整備
- 3 経営統合後の協働環境を構築。業務の「こう使いたい」を導入後短期間で実現

経営統合による新たな金融グループの誕生。情報共有と業務の融合が急務となった。

—— 経営統合、新会社設立時にグループウェアでめざしたことは何ですか？

企業文化に相違点もあったため、情報をスピーディーかつ確実に共有することに注力しました。

—— 導入に際して最初に解決したかった課題は何でしたか？

新会社を設立したことから、情報共有はもちろんですが、ITを活用して新組織における一通りの業務が遂行できることを意識しました。

—— 以前はそれぞれ異なるグループウェアを導入していたのですか？

肥後銀行と鹿児島銀行で、グループウェアは独自開発を行っていましたが、今回は設立までの準備期間が限られていたことからパッケージ製品を利用することを前提としました。システム開発期間が数ヶ月しかなかったのですが、desknet's NEOを採用することで予定どおり稼働させることができました。なお、構築にあたってはプロトタイピング手法を採用し、検証・改善を繰り返したことで、スムーズに移行することができました。

わずか1ヶ月で、職員が安心してdesknet's NEOを活用できる環境を整備。

—— 新会社スタートまで期日もなく、慌ただしいなかでの準備だったのですね。

10月1日の設立稼働に向けシステム全体の構築に着手したのが6月下旬からです。メール、ネットワーク、ファイルサー



業務・IT統括部
シニアマネージャー
吉永聡 様



業務・IT統括部
マネージャー
古庄伸一 様

バーなど九州フィナンシャルグループの全システム基盤を実質3ヶ月でゼロから構築しました。グループウェアに関しては、システム要件定義をする時間が十分に確保できなかったため、試用後すぐにプロトタイピングを行い、統括部門が評価。迅速に検証・改善する手法で、実質わずか1ヶ月の短期間で導入できました。

—— desknet's NEO 採用の決め手となったのはどのような点ですか？

ユーザーインターフェースがわかりやすく、文書管理、スケジュール管理、タスク管理、設備予約、ワークフローをはじめ、当初より必要となる機能を標準実装していることから選定しました。

—— ユーザーの利用浸透・定着のために取り組まれたことはありますか？

マニュアルなしでも利用できるよう、ユーザーに提供する機能、画面構成、詳細設定については、要件定義フェーズ中に繰り返し検討を行いました。

経営統合後の協働環境を構築。業務の「こう使いたい」を導入後短期間で実現。

—— desknet's NEO の導入によって真っ先に実感できた効果は何ですか？

限られた開発期間での構築でありましたが、グループウェアを活用した一通りの業務遂行が設立当初より実現できたことが大きな効果だと思っています。

—— 導入後短期間で、経営統合後の業務を効率よく遂行する活用法が定着したそうですね。

[ワークフロー]を積極的に活用したことで、効率的な業務遂行を早期に定着できました。desknet's NEOの[ワークフロー]を使えば、ユーザーが容易にさまざまな電子ワークフローを実装できるため、当初より業務に欠かせない約15種類の各種申請フローを準備できました。必要とされる業務フローにあわせて、ユーザー自身が電子ワークフローを作れるのは、desknet's NEOの非常に優れた点だと思います。

—— 実務を支える上で欠かせない規程の管理にもご活用いただいているとうかがいました。

文書管理機能を利用して、規程の管理を行っています。実務では規程に基づきすべての事務が遂行されるので、規程の管理はたいへん重要です。desknet's NEOの文書管理機能を利用することで、権限管理、履歴管理が効率よくできることがわかり、業務の規程の管理には最適であると判断しました。

—— 現時点でのご評価と今後のご利用展望についてお聞かせください。

desknet's NEOを活用することで、九州フィナンシャルグループの設立にあわせて、業務をスムーズに開始することができました。今後は、このIT基盤を活用し、お客様に最適かつ最良の総合金融サービスを提供できるよう、未来へ向かって挑戦します。

ご利用中の機能と使い方



インフォメーション

全社通達、部署内の連絡など「幅広くグループ内のメンバーに情報を周知するとき」に活用。業務上重要な規程類の改定時には改訂告知と変更内容が通知される。



文書管理

多様な取引や事務処理手続きに関する最新版の規程を管理。業務の根幹を支えるものとして厳密に管理されている。申請手続き上ワークフロー化できない申請書類の原本なども保管。



ワークフロー

業務に欠かせない多様な申請書類を運用管理。要望があればその場でディスカッション、シミュレーションしながら案件に応じた申請書を短時間で作成し、社内の要望に応じている。



To Do

未来の必ずしなくてはいけないことなどを管理。関係者も同時に入れ、スケジュール機能との連携表示で業務上のタスク管理に活用している。



15 スケジュール

ユーザーが個々に活用。スケジュール登録時の承認依頼など各ユーザーが独自に工夫しながら使用法を発展させている。ToDoの表示でタスク管理にも役立てられている。



設備予約

会議室、社用車、プロジェクタ、テレビ会議システムなどを管理。単独での活用は少なくスケジュール予約と同時に関連設備を予約する手順が多い。



フォルテック 一級建築士事務所



建築構造設計、
建築コンサルタント

20

ユーザー



建築・不動産



クラウド版

導入時期	2013年	従業員数	20名	設立	1996年8月	所在地	東京都新宿区
事業内容	建築構造計画・構造設計、木造・鉄骨造・鉄筋コンクリート造の構造設計、建設構造コンサルティング、耐震診断・耐震補強設計、新築住宅・既存住宅のインスペクション(建物状況調査)など。						
URL	http://www.fortech.jp						

「経営品質の向上やモチベーションの共有に成果をあげ、 企業の成熟を力強く後押ししてくれました。」

フォルテック一級建築士事務所様は、2016年設立20周年を迎える建築構造設計の専門企業。住宅、店舗、公共施設など多様な建築物の建築構造計画と構造設計を主業務に、リノベーション物件の耐震診断・耐震補強設計、個人施主による住宅のインスペクション(建物状況調査)などのニーズに応じています。desknet's NEOは、設計や解析など高度な専門分野のチームワークを支えるだけでなく、社員の自発的アイデアによる「フォルテック流」の活用術で経営や業務のイノベーションにも貢献。社員一人ひとりのパフォーマンスを最大限引き出し、パワフルなグループワークを実現しています。

この事例の ポイント

- 1 業務情報が複数のツールに分散。コミュニケーションにも課題が発生
- 2 スケジュールを評価しdesknet's NEOを採用。導入目的を共有した上で活用を開始
- 3 手間やコストをかけずに業務を改善。年間300棟を超える案件の進行管理を実現

**業務情報が複数のツールに分散。
コミュニケーションにも課題が発生。**

— グループウェア導入の

きっかけについてお聞かせください。

少人数の建築構造設計の事務所として、以前は一人ですべての設計業務を担当するスタイルでしたが、受注件数も増えスタッフが10名を超えるころから、作業の効率化や品質管理がしやすいチームによる設計業務に移行しました。複数の社員間による実務上の情報や確認・報告などのやりとりも必然的に増えていき、コミュニケーション・スタイルの変革に迫られていました。

— グループウェアでねらった効果や改善したかった課題はなんですか？

複数のアプリや手法に分散していた情報をまとめ、社内の連絡やコミュニケーションを包括的にサポートしてくれるツールを探しました。製品を選定する上で、私たちが重視したのは、次の3点でした。「簡単・手軽に使い、誰もがスムーズに無理なく使い始められること」「スケジュールのインターフェイスや操作感が以前のツールに近く、社員が違和感なく移行できるもの」「フリーウェアや独自の工夫で情報共有をまかなってきたので、イニシャル&ランニング費用をできるだけ抑えられ、優れたコストパフォーマンスのもの」

**スケジュールを評価し
desknet's NEO を採用。
導入目的を共有した上で活用を開始。**



代表取締役
今野広行 様



本部長
鳥田大輔 様



設計部
CAD設計課
兼子鉄平 様

— desknet's NEO ご採用の決め手は
なんですか？

[スケジュール]の見やすさと使いやすさ、コストパフォーマンスですね。誰もが直感的に操作でき、カスタマイズすることなく業務に合わせて活用できる点などを総合的に評価して、desknet's NEOを採用しました。

**手間やコストをかけずに業務を改善。
年間300棟を超える案件の
進行管理を実現。**

— 導入後手応えや成果を感じた機能
はなんですか？

やはり、導入前に最も期待を寄せていた[スケジュール]ですね。新規案件が決まったらプロジェクト・リーダーがチームを編成し、業務の差配、予定入力を行い、スケジュール登録があった時点で、担当スタッフにメールで通知されます。プロジェクトの進行状況が、ひと目で分かるようにクライアントや作業種別に応じたアイコンを用意し、休日、外出、出張などの個人予定はスタッフ自身が必ず登録するルールを徹底。全員の予定がすぐ把握でき、急な会議も迅速に設定できるようになりました。

— 当初より[プロジェクト管理]も連携して
ご活用なさっていたそうですね。

スケジュールと紐付けて[プロジェクト管理]も連携してフル活用しています。スケジュール画面にあるURLをクリックする

とプロジェクト管理画面が呼び出され、進捗の登録や報告をシームレスに行っています。進捗管理は、受注から納品まで7つのマイルストーンからなり、1案件に平均6名ぐらいが関わり、全員が日々の進捗率を必ず記入しています。状況ごとに細かくマニュアル化されているため、新入社員も迷わず標準化された基準で自主管理できています。[スケジュール]と[プロジェクト管理]を介して仕事が配分されていることが、社員の安心にもつながっているようです。現在では20名で、年間約300棟を超えるプロジェクトを手がけるまでになりました。

— desknet's NEO 導入後の効果について
お聞かせください。

コミュニケーション・ツールがdesknet's NEOに集約されたことで、当初悩んでいた課題はすぐに解決され、社内コミュニケーションは活性化されました。社員数も倍の20名となり、当社も20周年の大きな変革期を迎えました。社員の能力やパフォーマンスを最大化して、お客様のご要望にさらに的確にお応えできるよう、組織や社内体制の改革、環境整備などに取り組んでいる真っ最中です。そのような中、desknet's NEOは業務の課題や悩みを解決するツールから、社員の意識やアイデア、モチベーションを共有するツールへと進化し、わが社のイノベーションのコアとなってくれました。desknet's NEOが、会社の成熟を後押ししてくれたのです。

ご利用中の機能と使い方

15 スケジュール

新規受注時、プロジェクト・チーム編成と同時にリーダーがスケジュールを登録。担当チームのスタッフがメールで通知される。クライアント、作業種別ごとにアイコンを設定し、複数プロジェクトの進行状況がひと目で分かるようにしている。

プロジェクト管理

各プロジェクトの[スケジュール]と連携して活用。[スケジュール]上のURLからプロジェクト管理画面にリンクし、進捗登録や報告をシームレスに実行。日々の進捗率を記入するルールの徹底で、複数案件をこなす社員の仕事量が適正に配分できるようになった。

ワークフロー

見積もり・請求依頼と、その際必要な担当者の作業時間申請、定期券申請、講習会やセミナーの参加申し込みなど多彩に活用。法令により保存が義務づけられた建築設計図書データのデータ化に伴う、厳密化されたルールに基づく申請依頼にも活用している。

ポータル

業務や接遇などの各種マニュアルのほか、取引先一覧を管理・表示し迅速にインターネット電話で発信できるようにしている。取引先担当者の最新電話番号・所属部署・役職の最新情報をつねに全社で共有している。

閲覧・レポート

会社代表から全社員への売り上げ報告の周知や、作業に関連する新商品の情報、各種データなどを全員で共有する際などに利用。各自の閲覧状況が確認できるほか、コメントなどの書き込み機能も利用している。



▲ フォルテック様ご利用中「ポータル」画面



生活協同組合
コープえひめ



生活協同組合

700

ユーザー



組合・団体



クラウド版

導入時期	2014年	職員数	1,513名(職員、嘱託、定時)	設立	1974年7月	所在地	愛媛県松山市
事業内容	生活協同組合。四国の3生協「コープえひめ」「こうち生協」「とくしま生協」による事業連帯組織。						
URL	http://www.coopehime.or.jp						

「組合員の声を3つの生協で共有。
期待に応える商品を企画開発しています。」

生活協同組合コープえひめ様は、同じ四国エリアのこうち生協、とくしま生協の3つの生協で、商品企画や商品カタログ作成などの「商品事業部」と会員情報や受発注管理、流通システムなどの開発を行う「情報システム部」については事業連帯を組んで運営しています。2014年には各生協バラバラだったグループウェアをdesknet's NEOに統合。3生協の情報共有と密接な連携で、商品企画や品質の向上、事業継続計画などを推進しています。3生協に加入する組合員(顧客)の総数はおよそ47万人。店舗事業・宅配・共同購入などを通じて、組合員からは商品に関するさまざまな意見が寄せられます。その声はその日のうちにdesknet's NEOで共有され、商品企画や品質改善に活かされています。

この事例の
ポイント

- 1 生協3組織の事業連携のためにグループウェアを統合したかった
- 2 コスト・使いやすさ・運用の3要件を満たすdesknet's NEOを採用
- 3 3生協の連携体制から、信頼される商品とサービスが生まれる

生協3組織の事業連携のために グループウェアを統合したかった。

— 3つの生活協同組合の事業連帯の背景をお聞かせください。

えひめ・こうち・とくしま3生協の「商品事業部」「情報システム部」の業務を統合（コープしこく事業連帯機構）した背景には、3生協の協力関係の強化で商品企画力やサービスを向上させるとともに、職員にとって働きやすい環境を整えるねらいがありました。

— グループウェアの導入にはどのような目標がありましたか？

「グループウェアによる3生協の連携強化」「グループウェアとインターネットメールの統合」「災害に強いシステムと事業継続計画の基盤づくり」です。

— 事業継続計画については、生協独自の指針があったのですか？

東日本大震災の教訓を受け、地域の実情にあわせた事業継続計画を策定しています。当地域では、南海トラフ大地震への対策が重要な課題で、特に太平洋沿岸部のこうち生協などは高い危機意識を持っています。災害時の安否確認と情報伝達・共有手段の確保などを考慮してサーバーも外部サービスを採用する方針で「災害にも強いグループウェア」の導入をめざしました。

コスト・使いやすさ・運用の3要件を満たすdesknet's NEOを採用。

— 製品はどのように選定なさいましたか？



情報システム部
統括マネージャー
佐藤靖行 様

比較検討に際しては1.コスト2.操作性、3.運用保守の順に査定しました。ウェブベースの製品としてdesknet's NEOとシェアを二分する競合製品、米大手インターネットサービス企業の製品、念のためそれまで使っていたC/S型製品の最新版も比較したうえでdesknet's NEOを採用することにしました。

— コスト以外に採用の大きな決め手となったのはどのような点ですか？

コスト以上に、機能のわかりやすさと操作性が高評価でした。前製品の操作に慣れているユーザーが戸惑うことなく使えるかにも配慮しましたが、desknet's NEOはわかりやすく、導入後に余計な作り込みの必要がない事も好印象でした。仮にユーザーの要望でカスタマイズをするにしても、シンプルな手順で負担なく実用化できると思えました。各種機能の検証を経て、事業継続の要件を満たすクラウド版の導入がコスト・運用面でも条件に適合していたため、desknet's NEOを正式に採用しました。

3生協の連携体制から、信頼される商品とサービスが生まれる。

— desknet's NEO 導入後の効果はいかがでしょう？

desknet's NEOへのリプレースで、コープえひめ・こうち生協・とくしま生協の情報共有の環境を統合できた効果は大きいですね。3生協の610ユーザー、店舗・福祉施設も含む全55事業所の情報環境をまとめて整備できましたし、今まで3生協



情報システム部
運用チーム
崎山博史 様

で共有できていなかった[スケジュール][設備予約]も導入した日から共有できるようになりました。クラウド化によって運用・保守管理の省力化・簡素化が図れたのも大きなメリットです。

— 生活協同組合の業務に影響や効果はありましたか？

個別の生協組織をひとつにできたのが一大成果です。3生協の連携強化によって組合員のご要望や意見、職員の現場の気づきなどがその日のうちに日報などで集約されインフォメーションで共有されます。現在、生活協同組合らしい取り組みとして、組合員の声を反映して、四国の特産品・生産者にこだわった『コープブランド商品』というPB商品に力を入れています。新たな商品の企画開発には3生協の密接な連携が不可欠で、desknet's NEOが組合員の期待に応える商品やサービスをご提供するための意見交換やアイデア共有、検証の場になっています。

— 事業継続計画についてはいかがですか？

導入年は、災害時に主要な事業所間の連携を確保するという第一段階に着手できました。翌2015年9月の防災の日には[安否確認]のテスト運用を実施しました。災害時の利用を周知徹底して、災害に強く、職員を守る体制を整備していきたいと思います。宅配や共同購入で地域に密着し、店舗は災害時の支援拠点にもなります。地域防災の支援体制づくりにもdesknet's NEOはきっと役立ってくれるはずですよ。

ご利用中の機能と使い方

文書管理

規程や規約、申請書フォームの他、部門・部署ごとの文書を管理。組織やグループ毎にカテゴリを設定して、文書の更新や削除が可能なユーザーや参照のみのユーザーなどのアクセス権限を設定。利便性を損なうことなくセキュリティ管理を強化している。

インフォメーション

業務日報で報告された新製品への感想や商品への要望をその日のうちにリーダーが集約し共有。商品改善、パッケージ改良などの品質向上に役立てられている。

ウェブメール

グループウェアとメールの連携をdesknet's NEOで実現。利便性が向上。フィルタ機能、迷惑メール対策などの設定を、組織・ユーザー単位で設定できるので、運用・保守管理、サポートの負担軽減につながっている。

15 スケジュール

3生協での共有を実現。全生協共通のスケジュールと各生協のスケジュールを分けて管理しているが、すべて公開されており、組織間のスケジュール調整も迅速になった。

設備予約

3生協で会議室、公用車、備品管理などに活用。定時予約も許可され、1年先の予約管理も行われるようになった。

ネオツイ

こうち生協が土佐弁のつぶやきを展開。各生協お国言葉で展開したら面白いなどのアイデアがユーザーから発信されている。

★ その他

[ToDo]を活用





ちばぎん
コンピューターサービス
株式会社



ソフトウェア開発

320

ユーザー



情報・通信



パッケージ版

導入時期	2014年	従業員数	225名	設立	1980年4月	所在地	千葉県千葉市
事業内容	ちばぎんグループの総合情報サービス企業。千葉県内はもとより県外の民間企業、地方公共団体などを取引先に、ソフトウェア開発サービス、コンピュータ機器販売・導入サービス、IDC（インターネットデータセンター）サービス、アウトソーシングサービスなどを提供している。						
URL	http://www.ccsnet.co.jp						

「経営会議の紙資料ゼロに成功。NEOを活かしたスマート会議が好評です。」

ちばぎんコンピューターサービス株式会社様は、地域密着型経営で事業を展開する、ちばぎんグループの総合情報サービス企業です。千葉県はもとより全国の民間企業や地方公共団体などに、業務革新に結びつく総合的システムサービスを提供しています。事業所内には国内最高水準の「金融機関等コンピューターシステムの安全対策基準」(FISC基準)に準拠したインターネットデータセンターが設置され、厳格なセキュリティ規程に基づく運用が行われています。情報管理にはつねに緊張感が伴う職場ですが、社員が業務上の情報共有に役立てるためにdesknet's NEOを採用。社内活用に限定することで、全ユーザーが安心かつ自由に使いこなせる情報基盤として定着しています。desknet's NEOの各種機能を活用してペーパーレスなどの業務改革を実現するとともに、ポータル化によって自社制作のプログラムや業務コンテンツをたくみに連携。desknet's NEOを入りに多様な業務にアクセスできる理想の環境を追求しています。

この事例の
ポイント

- 1 厳格なセキュリティ管理基準を満たしながら、安心して情報共有できる場を整備したかった
- 2 再検証で形勢逆転。すでに決定した製品をくつがえしdesknet's NEO採用へ
- 3 ペーパーレス会議を実現。ポータル活用で多彩なプログラムやコンテンツを自在に連携

ご利用中のお客様の声

厳格なセキュリティ管理基準を満たしながら、安心して情報共有できる場を整備したかった。

— desknet's NEO 導入の背景についてうかがいたと思います。

もともと大手電機通信事業者による中小事業者向けグループウェアを採用していたのですが、製品そのものが終息するという方針が出されリプレースすることになりました。

— 新たな製品に期待なされたことはありますか？

やはり使いやすさでしょうか。積極的な活用を通してグループウェアの可能性はさらに高められると思いましたが、事業者として企業や自治体のお客様に各種グループウェア製品をお奨めする立場にもあるので、自社の業務効率化のみならず、グループウェアの利便性や可能性などを自ら活用しながら検証・追求できるという期待もありました。

再検証で形勢逆転。

すでに決定した製品をくつがえし desknet's NEO 採用へ。

— 実はdesknet's NEO以前に別製品の導入が確定していたとかがありました。

すでにdesknet's NEOの競合製品の導入が確定していました。導入要件はほぼ



法人事業部
法人システム部
第2システムグループ長
部次長
平戸雅博 様

満たしていましたが、社内でもオーソライズされていましたが、操作性など納得できない点もいくつかありました。気になるので再検証し、公平を期すため予備情報なしで部署内の約50名に試用してもらったところ「desknet's NEOのほうが使いやすい」という声が圧倒的でした。導入を主導していたのは他部署でしたが協力を得られ、当初の決定をくつがえすかたちでdesknet's NEOの採用が決定しました。

— 導入の決め手となったのは、どのような点でしたか？

まずは、実際に使ってこそ体感できる操作性とすっきりとした画面の見やすさです。特にdesknet's NEOになってからインターフェースは非常に見やすくなりましたね。

— 厳格なセキュリティ管理下でグループウェアを活用するにあたって、どのようなことに配慮なさいましたか？

desknet's NEOは社内業務に特化した情報共有&コミュニケーションの手段に活用するものという共通認識に基づいて展開し、施設内限定のサーバーで運用しています。営業には機能制限をかけタブレットの利用を認めていますが、社内無線LANでも外部利用と同等の制限をかけるなどセキュリティを重視して構築しました。



法人事業部
法人システム部
第2システムグループ
木田成美 様

ペーパーレス会議を実現。

ポータル活用で多彩なプログラムやコンテンツを自在に連携。

— 特に手応えを感じられた機能の活用方法などはありますか？

[文書管理]で会議資料の共有をはじめました。役員の定例会議が毎週開かれるのですが、今まで紙の資料で配付していたものを[文書管理]で事前共有して会議の間ではノートPCで閲覧するようにしたのです。会議後も安全に情報管理でき、過去の資料も整理・検索できるのでいいですね。

— desknet's NEO 導入後の効果はいかがですか？

desknet's NEO単体での利用効果に加えて、ポータル化によって販売管理や営業支援など業務で活用度の高い自社開発プログラムやコンテンツを連携させて、すべてをシングルサインオンで活用できるようにした効果は大きいですね。現在、相当数の社内システムがdesknet's NEOを介して縦横無尽に活用されています。中にはdesknet's NEOから直接クライアントアプリケーションを起動させるなど、独自の工夫で連携している機能もあり、今も進化を続けています。

ご利用中の機能と使い方

文書管理

desknet's NEOへの移行後、販売管理や営業支援など業務関連文書の共有量が増加。管理権限をコントロールしながら各部署が活用している。経営会議の紙資料ゼロ化など上層部の積極的な活用が全社的なペーパーレス化の推進に進展した。

ネオツイ ダイレクトメッセージ

業務から少し離れた気軽なコミュニケーションに活用。メールでは重くなってしまう内容もチャットのような感覚で発信でき、組織内のやわらかな交流に役立っている。

回覧・レポート

会議の議事録を共有。会議後アップして参加者が確実に閲覧していることを確認。閲覧状況がひと目で分かる機能を活かし、ユーザーごとに確実に実行して欲しいシステム・アップデートやセキュリティ対策の手順案内に活用。

ウェブメール

外部とは完全に遮断し社内限定で活用。アカウント登録されているユーザー間の送受信に限定したことが安心につながり、社内業務連絡やアイデア共有など自由闊達な情報交換、コミュニケーションの手段としてフル活用されている。

インフォメーション

全社共有情報を掲示。定時退社日、社員旅行日程、システム・メンテナンスによる一時停止、セキュリティの脆弱性に対する注意喚起やセキュリティ対応を促す通知とその手順など、あらゆる全社共有情報を一斉配信している。

アンケート

desknet's NEO導入後の使用感や各種業務関連の意見収集をはじめ、イベントや福利厚生関連の行事への要望、参加確認のアンケートなど、あらゆる意見・情報の集計に活用。CSV出力で結果集計や分析が迅速になった。

設備予約

会議室、営業車輛、デジタルカメラ、プロジェクタ等を予約管理。写真の併用で各種機材の機種ごとの利用状況が瞬時にわかり使用感が向上した。経営会議などの定期予約も定着し、設備・機材全体の運用・稼働効率が向上した。

電子会議室

社内委員会や特定のテーマ・議題に関する投げかけ、意見募集などに活用。



▲ ちばぎんコンピューターサービス株式会社様
ご利用中「ポータル」画面





株式会社
アイネット



情報処理・システム開発・
システム機器販売

1700
ユーザー



情報・通信



パッケージ版

導入時期	2001年	従業員数	903名	設立	1971年4月	所在地	神奈川県横浜市
事業内容	データセンターとクラウドコンピューティングを展開するITサービスプロバイダー。次世代型データセンターをベースに、システム設計・開発、運用・監視、プリント封入封緘・BPOサービス、業務アウトソーシング、先進的なクラウドサービスまでビジネス全般に最適なサービスをワンストップで提供している。						
URL	https://www.inet.co.jp						

「1,700名の情報共有で営業 & 開発の業務を支援。
働きやすい職場環境づくりにも効果を上げています。」

株式会社アイネット様は、次世代型データセンターを4棟保有し、システム開発・運用・監視、プリント・封入封緘や各種BPO業務に加え、先進のクラウドサービスをワンストップで展開するITサービスプロバイダーです。企業合併や子会社の参画などを経て事業を拡大する中、社員数も着実に増え続けた同社では、組織全体の情報共有のためにdesknet's NEOを採用。スケジュールやプロジェクトの管理に役立てるだけでなく、社員のモチベーションの共有やワーク・ライフ・バランスへの取り組みにも活用。社員の一体感を高め、働きやすい環境づくりにも効果を上げています。

この事例の
ポイント

- 1 グループウェアの活用で、合併後の組織力強化をめざす
- 2 ユーザーへの展開のしやすさ、わかりやすさを評価しdesknet's NEOを採用
- 3 複数プロジェクトの進行管理を効率化。社員が安心して働ける職場環境にも貢献

**グループウェアの活用で、
合併後の組織力強化をめざす。**

—— 導入時の背景についてお聞かせください。

2001年4月、当社が規模の拡大を目指してシステム開発の会社を合併した際、新会社の組織力を高め、早期の融合を図るためにグループウェアの効果に着目しました。

—— グループウェアで狙った効果や改善したかった課題はなんですか？

合併により社員数は1,000名の大組織となります。支社などの拠点数も増え、そこに全国複数の出向先で作業をする開発者も加わります。まずは、大人数の情報共有を実現する環境を整えて、異なる企業文化の融合を図ること。実務ではスケジュールの共有と管理が課題となっており、営業部も開発チームも各種プロジェクトのメンバー管理やタスク管理に苦労していました。それらの課題を克服しようと行き着いたのがグループウェアだったのです。

会社の現状を共有し、個人の成果を組織に活かす職場環境が整った。

—— 製品選定はどのように行われましたか？

様々な製品を検討した結果、インターフェースがわかりやすいdesknet's NEOを採用することにしました。コストなども試算・比較していますが、決め手となったのは、使いやすさです。

—— 当時はwebベースか？クラサバか？という論争もありました。



執行役員
企画部
統括部長
木下昌和 様



データセンター本部
クラウドサービス事業部
営業部
部長
数登志夫 様



データセンター本部
クラウドサービス事業部
営業部
山口亜美 様

確かに当時は著名なクライアント・サーバー製品が多く企業で採用されていましたね。しかし、合併と同時に拠点数は増え、将来的には組織も大きくなる事が予測されました。開発の社員は出向先に常駐することも分かっていたから、活用を展開する上でも、管理・運用面でも、webベースの製品を選定したのは必然的なことでした。

**複数プロジェクトの進行管理を効率化。
社員が安心して働ける職場環境にも貢献。**

—— 利用度が高く実務面で成果を挙げた機能などはありますか？

営業部では、プロジェクト単位でグループを構成して、特定のプロジェクトが立ち上がるたびに、営業・開発・運用の各メンバーおよそ10数名が選任されます。全員が複数のチームに関わっているのですが、スケジュール決定に苦労することなく、複数のプロジェクトを同時に管理・進行できるようになりました。会議の際には[設備予約]で会議室や備品も押さえ、予定通知メールを送信しています。すべてがまとめて完結するので、今はもうdesknet's NEOなしでは仕事になりません。

—— 規程類や申請書類は [文書管理] で共有しているそうですね。

社内規程なら本社総務部、人事規程なら人事部など各主管部署がフォルダを作成

し管理しています。規程や各種申請書類の最新版がいつでも利用できるようになりました。[文書管理]の利用度は高く、現在大分類だけでも20以上あります。

—— desknet's NEO 導入後の社内効果についてお聞かせください。

desknet's NEOの導入だけで大ユーザーの情報共有を実現できたことにつきますね。本社、事業所、支店、データセンターだけで全国11カ所、さらに開発部門は出向先に常駐している社員も多いのですが、[インフォメーション]で日々の会社の動静が居ながらにわかります。離れた現場にいる不安や孤立感も抑制でき、いい意味での“愛社精神”の醸成にもつながっていると思います。

—— ワーク・ライフ・バランスへの取り組みにも役立てられているそうですね。

女性活用には特に気を配っていて、次世代育成支援対策推進法に基づく『子育てサポート企業』として厚生労働大臣の認定や『神奈川県子ども・子育て支援推進条例』に基づく推進事業者として県の認証を受けています。産休中の社員なら復職前にdesknet's NEOで社内の動きを把握してもらい、実務への復帰をサポートできますし、時間外労働の免除や勤務時間の短縮を許可されている子育て中の社員も、会社にいられる時間が短い分をdesknet's NEOが補ってくれます。社員にとって働きやすい労働環境を整備するためにもとても役立っているんです。

ご利用中の機能と使い方

文書管理

本社総務部「社内規程」、人事部「人事規程」など、文書ごとに主管部署に権限と管理責任を与え、全体の秩序を維持している。各種申請書類の最新版が共有できるため、拠点・社員数とも多い組織には不可欠の機能といえる。職種ごとに細分化された人事評価のフォームも効率よく管理できるようになった。

設備予約

会議室や備品の管理に活用。会議などの予定が決定すると同時に“会議室を確保し、通知メールを発信する”ことがルーティン化している。

アドレス帳

全社員のアドレスを管理。社員数・拠点数が多いので、全社員の所属部署、メールアドレス、内線番号を共有。社員間や企業内の連絡に日常的に活用されている。

15 スケジュール

複数のプロジェクトの進行管理に活用。メンバー編成、会議の招集などプロジェクト全体の管理から、複数のプロジェクトを受け持つ個人の予定管理までフル活用されている。desknet's NEOを見るだけでメンバー全員の予定管理ができる効果は大きい。

インフォメーション

全社告知事項はつねにこの機能で表示。社内や業界の動向、決算報告、慶弔など全社で共有すべきあらゆる情報を告知。出向先に常駐する社員が自社の動きをつねに把握できるなど、社員のモチベーションを維持するためにも効果を上げている。

★ その他

[Webメール] [安否確認][アンケート][電子会議室]などを活用している。



それぞれの会社の機能活用法を紹介中！

会社名・団体名	業種	 ポータル	 スケジュール	 ウェブメール	 設備予約	 インフォメーション
01. 株式会社東京ダイヤモンド工具製作所	製造		★		★	★
02. 社会福祉法人みなと寮 大阪市立弘済院第1特別養護老人ホーム	医療・福祉					★
03. 社会福祉法人 聖隷福祉事業団	医療・福祉	★	★		★	★
04. 社会福祉法人 札幌市社会福祉協議会	医療・福祉		★		★	★
05. 株式会社九州フィナンシャルグループ	金融・商社		★		★	★
06. フォルテック一級建築士事務所	建築・不動産	★	★			
07. 生活協同組合コープえひめ	組合・団体		★	★	★	★
08. ちばぎんコンピューターサービス株式会社	情報・通信		★	★	★	★
09. 株式会社 アイネット	情報・通信		★		★	★

選べる2つの利用形態

デスクネット ネオは、社内サーバーやレンタルサーバーにインストールして利用できる「パッケージ版」と、サーバーを持たずにサービスとして利用できる「クラウド版」をご提供。

どちらの利用形態でもデスクネット ネオのすべての機能をご利用いただけます。



回覧・レポート	伝言・所在	ワークフロー	文書管理	電子会議室	ネオツイ	アンケート	キャビネット	ToDo	アドレス帳
		★	★						
★	★		★		★	★	★		
★			★	★		★			
★	★								
		★	★					★	
★	★	★		★				★	
			★		★			★	
★			★	★	★	★			
			★						★

▶ P 03

▶ P 05

▶ P 07

▶ P 09

▶ P 11

▶ P 13

▶ P 15

▶ P 17

▶ P 19



パッケージ版

ライセンスをご購入頂き、社内サーバーや仮想環境、レンタルサーバーなどにインストールしてご利用いただく形式です。

スモールライセンス

¥39,800～

(5ユーザー/税別)

エンタープライズライセンス

¥1,500,000～

(300ユーザー/税別)



クラウド版

利用するユーザー数分の月額または年額料金のみで、サーバーを持たずにサービスのみご利用いただく形式です。

月額

¥400

(1ユーザー/税別)



製品に関する最新の情報やお問い合わせはホームページから 

 デスクネッツ ネオ

検索 

<https://www.desknets.com/>

開発・販売元

株式会社ネオジャパン

〒220-8110

神奈川県横浜市西区みなとみらい 2-2-1

横浜ランドマークタワー 10F

※記載されている商品名、製品名は各社の登録商標または商標です。
※記載されている内容につきましては予告なしに変更することがあります。